



平成三十八丙申歳 諏訪大社式年造営御柱大祭

富士見町 東三地区

# おんばしら通信 参

境・本郷・落合地区 大総代会・記録係 平成28年4月16日発行



安全に仲良く楽しく美しく

# 魅せたい！本三

心ひとつに最高の曳行

待ちに待った六年間。ついに御柱祭の開幕です！  
天候にも恵まれた一日目、一五〇〇人の曳子が集まり、七時半に神事を行い曳行を開始、昼過ぎには難所の穴山大曲もきれいにクリアし子の神でお清め、午後六時お宿に曳きつめました。二日目、二千人を超える曳子で八時半に曳行を開始。昼食をはさんで針孔梶子を十一人乗りで交換し木落しに挑みました。四時三〇分かつくりと迫り出し、大総代の白旗で一気に急坂を滑り降りしました。左右の針孔梶子もバランスを保ったままの美しい水落しで拍手喝さいを浴びました。三日目、雨天にもかかわらず一五〇〇人の曳子の皆さんが集結、七時半、山出し最終日の曳行が始まりました。国道を約三分で横断し、新ルートの中道下もきれいに右折。前の柱の影響もあり約四五分遅れとなった川越しも、豪快な水飛沫とともに着水。引き上げもスムーズに十二時過ぎに御柱屋敷へ曳き付けその後の片付けも明るいうちに終了する事ができました。曳子、係一体となった東三地区の素晴らしい曳行に感動です！

### 境地区大総代 飯田幹夫(信濃境)

役員や係の皆さんの協力の下、予想以上に多くの曳き子の皆さんにお集り頂き、三日間を通じて素晴らしい曳行が出来ました事に對し、心から感謝申し上げます。初日の難所「穴山の太曲」。郵便局前の直角を一気に通り抜けたとき、二階の棧敷席から「上手だったよ！」と歓声が上がりました。木落し「メドを倒さないよう綺麗に落ちてほしい。怪我人を出さないでほしい。この二点だけを心の中で叫んでいました。現地踏査を繰り返して行つた成果が遺憾なく発揮された、素晴らしい木落しが出来ました。三日目、山出し最後の難関「川越し」新ルートとなったスタンド前をスムーズに右折し川へ。迫り出しから引き上げまで約二〇分。入水時間三分の早業に、観衆からは拍手喝采。御柱屋敷に曳き付けて万歳をしたときには、感極まって十分な挨拶が出来ませんでした。関わって頂いた全ての皆さんに感謝、感謝です。

### 本郷地区大総代 植松久永(立沢)

天候に恵まれて予想以上の氏子の皆さんのご奉仕に深く感謝申し上げます。一日目開始以来、時間を厳守しながらの曳行で大曲りでの見事な技を見せて頂きました。曳子の皆さん長い距離大変お疲れ様でした。二日目、距離は短くなったが、難所の木落し坂を柱まわりの若衆が、連携の取れた華麗な落とし方で見事でした。三日目は朝のうち雨が降りましたが天候が回復し川越しへと新しい曳



川越し終えて歓喜の万歳！

### 落合地区大総代 武藤有廣(烏帽子)

いよいよ御柱が始まりました。初日の大風土煙、三日目朝の雨、各係、曳子の氏子の皆さん頑張りました。見事な技の大曲り、華麗な木落し、すばらしい川越し、自慢の本宮三でした。何回も練習した結果だと思えます。本当にお疲れ様でした。少し休んで里曳き、建御柱、楽しみです。無事故で何事もなく終わることを願っております。仲良く曳行しますのでご奉仕をお願いします。

### 本郷地区大総代 五味芳水(乙事)

御柱祭山出しには大変多くの氏子の皆さんに御奉仕して頂き強行日程にも関わらず安全でスムーズな曳行が出来たことに感謝し御礼申し上げます。柱まわりの人達と曳子の皆さんが引き綱を通じて一体になり大きな力となり、木落し、川越しを見力を見せてくれました。いよいよ里曳きさん、大勢の氏子の皆さんに参加していただきお祭りを十分楽しんでいただきたいと思います。



雨中の曳行開始



**御頭郷総代幹事長  
功力喜朗（池袋）**

先般の平成二十八年諏訪大社御柱祭山出しには、東三地区氏子の皆様、それぞれ立場でご参加いただき大変素晴らしい曳行ができました。大変お疲れ様でした。曳行責任者としてほっとしております。今回の御柱が「安全に、仲良く、楽しく、美しく！」をモットーに進めております。山出しでは、多くの難所がございましたが、なんとかクリアできました。これらも氏子の皆様の協力のおかげでございます。ありがとうございました。5月の里引きは曳行距離、難所も少ないわけですが、気を抜くことなく曳行してまいります。どうかそれぞれの立場において「協力一致」でのご参加よろしくお願ひ申し上げます。

**御頭郷総代副幹事長  
小池義弘（立沢）**

平成二十八年山申年諏訪大社御柱祭の山出し祭は、大きな感動の内に終了することができました。天候にも恵まれ（三日目朝に多少の雨はありましたが総じて）、素晴らしい御柱となりました。今回は、「時間厳守」が大きく叫ばれ、一日目の曳行はまさに時間との戦いのような曳行となりました。お疲れ様でしたが、氏子の皆さまの協力により目的のお宿まで曳行することができました。途中休憩も少なく、大変お疲れだったと思います。二日目は大勢の氏子の皆さまが曳行してくださり、とても素晴らしい感動もとの「木落し」ができました。そして三日目の「川越し」では、着水から御柱屋敷までを一気に曳行し、観客の方



**御頭郷総代副幹事長  
久保伸一（瀬沢）**

さすが出し、三日間天気の続く日はないものですね。しかし三日目の雨にも関わらず大勢の氏子の皆様にご参加いただき、感謝に尽きません。東三地区は大きな地域ではありませんが、すべての地区が一体となってこの曳行が出来ているのだと実感しました。大きな柱で、いずれの役割も苦勞の多い曳行になります。各係りの精一杯頑張っています。里曳きも引き続きご協力をお願い申し上げます。

**御頭郷総代副幹事長  
木遣り係長  
小林 昭（富士見台）**

山出し三日目、朝から雨の降る生憎の空模様の中各係の準備作業を見守っていると木遣りの副係長2名から今日の川越しで木遣りも川に入るよと言われ有志を募り川に入る事。入る処は水深も膝が隠れる程度と聞いていたが実際に川に入ってみると雨のせいもあり水かさも増え股の辺り迄有った様に思います。そんな中、川に入った男性5名、女性1名の木遣り師は川の中で脈かに木遣りに花を添えられた様に思います。又観客にもアピールが出来、とても印象に残った川越しでした。

**御頭郷総代副幹事長  
喇叭係長  
小川伸二郎（富士見台）**

氏子の皆様、山出し三日間本当に有難う御座いました！喇叭係も華やかな御柱祭になるように最大の努力をしました。ラッパの音に合わせてヨイサヨイサ！と答えて頂き心から感謝致します。里曳きも盛大に盛り上げたいと思います！よろしくお願ひ致します！

**御頭郷総代副幹事長  
前針孔梶子係長  
坂本盛啓（瀬沢）**

山出し三日間にご参加いただきました皆様、TVで応援して頂きました。方々、留守を守って頂いた警備の方々、東三地区全ての氏子の皆様方に感謝申し上げます。特に最終日は雨にも関わらず、大勢の方に曳いて頂き、本当に有難う御座いました。大曲り、木落し、川越し全ての成功は皆様方の一致団結のお力と応援があったからこそと深く感謝申し上げます。他の柱関係者からも八本の柱のなかで一番良かった、纏まっていたと聞かえてきております。

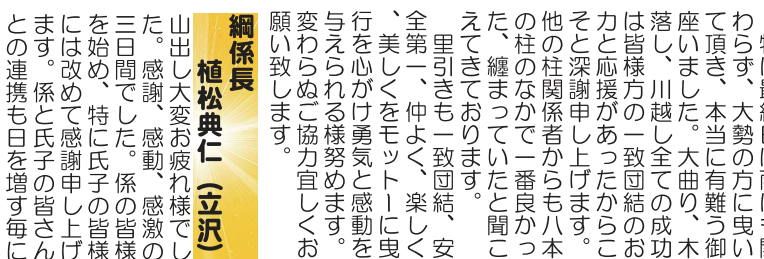
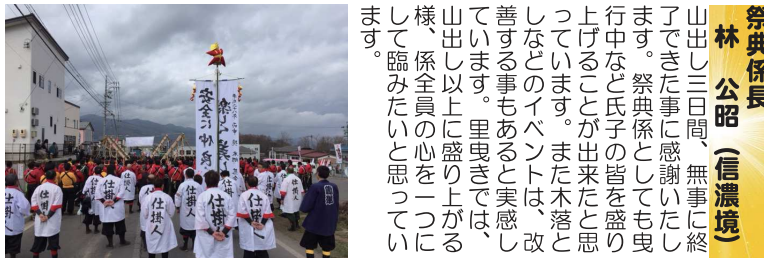
**御頭郷総代副幹事長  
後針孔梶子係長  
雨宮千知（瀬沢新田）**

深まり、特に三日目の中原交差点やその後の川越しの際に、ローテーションしながら一生懸命曳いて下さる氏子の皆さんの姿に、本当に頭の下がります。前針孔梶子の乗り手が交代時にはさらに大きな声を出して盛り上げていました。川越しでは、柱後側が川に入ってから後針孔乗り手十人が泳いで針孔に乗り、ねらい通り御柱後側を沈める事ができ、そのまま御柱屋敷へ！感動しました。里曳きでも後側から盛り上げていきます。よろしくお願ひ致します。

**御頭郷総代副幹事長  
網係長  
植松典仁（立沢）**

山出し大変お疲れ様でした。感謝、感動、感激の三日間でした。係の皆様には改めて感謝申し上げます。係と氏子の皆さんとの連携も日々増す毎に

**斧方係長  
中山 一（信濃境）**  
山出し三日間、大変お疲れ様でした。数々の難所も全て華麗にクリアし、多くの方々の心に感動と喜びを刻み、無事御柱屋敷に納める事が出来ました。これも全て氏子の皆様方の一致協力のお陰です。本当に有り難う御座いました。





小梶子係長

小林 勉 (田端)

三日間の山出しお疲れ様でした。いくつかある難所も見事綺麗にクリアすることが出来ました。係と氏子の皆さんの気持ち1つになったからだと思います。本当にありがとうございます。里曳きでは、私も係の皆さんも氏子の皆さんと力を合わせて精一杯努力し、心に残る様な曳行をしたいと思っております。最後まで氏子の皆さん、協力の程宜しくお願い致します。



# 大曲り



## 追掛網係長 五味幸太郎 (乙事)

山出し三日間の曳行が無事終了し、氏子の皆様及び関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。振り返ってみますと大曲、木落し、川越しと難所も追掛網係の協力一致の下、無事成功することが出来ました。里曳きにおいても係一同協力の下、一人の怪我人も出さずこの無い様、安全に曳行したいと思っております。皆様の御協力をお願いします。



副係長  
小林一也 (瀬沢)

山出しでは多くの氏子の皆様の御協力によって大曲り、木落し、川越しの難所を越え、無事に御柱屋敷に曳きつける事ができました。本当にありがとうございました。山出しでは木落しのわなぐりに乗せて頂き、とても感動致しました。この感動と感謝を忘れず、里曳きでは氏子の皆様全員が安全に、より楽しい思い出が1つでも多く出来るよう精一杯努力致しますので宜しくお願い致します。

兼の手  
左前針孔梶子  
高木伸哉 (瀬沢)

平成二十八年四月三日、本宮三木落し。あの時を思い出すと今でも胸が熱くなります。木落し坂上、大勢の氏子の皆様の気持ちと共に前針孔の足場を登りました。どの柱よりもきれいに坂を下る本宮三の華乗りを務めさせて頂けた事を、柱に携わった全ての皆様に感謝申し上げます。そしてこの経験と感謝の気持ちを忘れずに地域に貢献して行くことと思っております。最後に、無事を祈り心援助してくれた家族に心から「ありがとう」を伝えたいです。

副係長  
内藤二郎 (小六)

先日の木落しの際には元綱に乗せてもらう事が出来、大変光栄に感じると共に責任の大きさも痛感しました。五月の里曳きには、曳き子の皆さんにより楽しく分りやすい案内が出来る様努力します。山出し以上の大勢の皆さんに参加して頂いて思うに、残る楽しい御柱祭にしましょう。



# 木落し

兼の手  
右前針孔梶子  
植松幸佳 (立沢)

憧れていた木落しの舞台。本宮三の木落しの華乗り(とんぼ)をしながら、最高の興奮と幸せを噛みしめていました。本綱の先には、盛り上げてくれる氏子の方や、観光客がいました。その視線と掛け声に、勇気と励みを感じました。歴史ある御柱祭に携われたことは、私の誇りと自信になりました。今は、本宮三に感謝するすべての皆さん、支えてくれた仲間や家族に心から感謝して頂きたいです。

兼の手  
左後針孔梶子  
和田忍 (新田)

針孔になる前はこの大役を自分ではたせるか不安がありました。本三に関わる全ての皆さん子供から大人までそれぞれ役割を百二十〇%以上にだし、一人一人の力が、心が結果することでそれが百にも千にもそれ以上に多くなるんだなって感じ、役はたせたかどうかわかりませんでした。柱が坂を下りはじめ柱後ろがふわっと上がって、あの感覚は、最高ですね！貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

兼の手  
右後針孔梶子  
五味春基 (乙事)

木落し後針孔梶子八ナに乗らせて頂きました。氏子皆さんの協力により、素晴らしい木落しと大変感謝しております。ありがとうございます。皆さん、跳ね上がり、後針孔からの景色と観客の熱気忘れることができません。素晴らしい経験ができました。



- 矢沢幸佳 (立沢)
- 矢沢 洋 (立沢)
- 植松勝豊 (立沢)
- 小池健司 (立沢)
- 五味辰嘉 (乙事)
- 三井信二 (乙事)
- 三井裕也 (乙事)
- 矢崎真治 (立沢)
- 森山 歩 (小六)
- 小林慎也 (高森)
- 深川剛史 (小六)

- 高木伸哉 (瀬沢)
- 久保卓真 (瀬沢)
- 雨宮仁仁 (新田)
- 和田和夫 (富士見台)
- 中山重男 (池袋)
- 窪田浩行 (上黒木)
- 石垣貴裕 (富里)
- 五味和哉 (机)
- 平出智広 (信濃境)
- 佐藤孝博 (桜ヶ丘)
- 三神芳雄 (田端)



